

第16回 JLTF クレストレディーステニス by カーブス

60歳の部 岐阜県予選

- 【主 催】 日本女子テニス連盟岐阜県支部
- 【共 催】 各務原市テニス協会
- 【後 援】 日本女子テニス連盟 岐阜県テニス協会 岐阜新聞社、岐阜放送
- 【大会委員長】 藤原 ちえみ
- 【ディレクター】 梅田 宗子 Tel:090-4197-4972
- 【レフェリー】 安藤 千賀子
- 【大会委員】 牧村 洋子
- 【種 目】 女子ダブルス
- 【日 時】 2025年10月14日(火) 予備日10月21日
受付 8:20~8:55 9:00~開会式 終了後試合開始
- 【会 場】 岐阜車体スポーツ広場(砂入り人工芝) 各務原市各務山の前町 1-47-1
〒509-0105 各務原市各務山の前町 1-47-1 TEL:058-370-2818
- 【使用球】 ダンロップフォート
- 【試合方法】 すべての試合にノーアドバンテージ方式を採用
本戦 6ゲーム先取、コンソレーション 6ゲーム先取(敗者ボール使用)
ウォームアップはサービス4本とする
セルフジャッジ
- 【参加資格】 1. 日本女子テニス連盟岐阜県支部の会員であること 自己の主として居住する都道府県から出場する
2. 60歳以上(1965年12月末日以前出生の方)
3. 全国大会優勝者はパートナーを変更のこと
- 【服 装】 テニスウエア(長ズボン可、ロゴ規定なし、フェイスマスク着用不可)
- 【全国大会】 優勝者は第16回 JLTF クレストレディーステニス by カーブス 2025 全国大会に出場していただきます
11月27日(木)・28日(金) 東京都モリパークテニスガーデンで開催
交通費の補助があります
- 【その他】 本大会はすべてのプレイヤーを公平に扱います
試合中に発生した傷害についてはその場で対応はしますが、それ以後の責任は負いません
天候等やむを得ない事情により変更されることがあります
◎天候不良による中止や緊急の連絡は JLTF 岐阜県支部ホームページに掲載します
この大会で得た個人情報は大会以外の目的には使用しません

全国大会 岐阜県代表者

第 10 回 2018 年	久納 智子・高桑 陽子
第 11 回 2019 年	渡辺 美由紀・服部 佳代子
2020 年岐阜県大会	渡辺 美由紀・服部 佳代子
第 12 回 2021 年	今井 智美・竹内 文恵
第 13 回 2022 年	井平 早百合・田中 れい子
第 14 回 2023 年	今井 智美・竹内 文恵
第 15 回 2024 年	浅野 しのぶ・佐藤 香保里

☆☆注意事項☆☆

1. 受付時間までに試合のできる服装に着替え、二人そろって本部に届け出る。遅刻は失格とする。
2. 試合順序は本部掲示板を確認し、指定されたコート付近で待機する。
3. 前の試合終了後、直ちにコートに入り試合を始める。対戦相手が来ない場合はロービングアンパイアを呼ぶ。
4. ポイント間は 25 秒以内とし、エンド交代時は 90 秒以内の休憩とする。第 1 ゲーム終了後とタイブレーク中は休憩なしでエンドを交代する。
5. 試合終了後、勝者は直ちにスコアシートを本部に届け、次の試合の確認をする。

☆セルフジャッジについて（選手自身が判定とコールをします）

1. サーバーはサーブを打つ前にスコアをレシーバーに聞こえる声で言う。
2. ネットより自分側の判定とコールをする。
ボールがラインにタッチした時、見失って判定できなかった時は「グッド」
ボールとラインの間にはっきりと空間が見えた時は「アウト」「フォールト」
3. 相手に聞こえる声と相手に見えるハンドシグナルで速やかに行う。
代表的なハンドシグナルは、人差し指を出して「アウト」「フォールト」、手のひらを地面に向けて「グッド」
4. ダブルスの判定とコールは、一人のプレーヤーが行えば成立する。しかし、ペアの両選手の判定が食い違った場合はそのペアの失点となる。
ただし、ネット、ストラップまたはバンドに触れたサービスを、一人が「フォールト」、パートナーは「レット（グッド）」とコールした場合は「（サービスの）レット」となる。
5. ペアの判定が食い違ったとしても「フォールト」「アウト」をコールしたプレーヤーが「グッド」に訂正し返球が正しく相手コートに入った場合、1 回目は相手への故意ではない妨害としてポイントレットにする。そして、2 回目以降は故意に妨害したとして失点する。
ただし、ミスジャッジの前に打たれたボールが明らかなウイニングショット・エースまたは返球が正しく相手コートに入らなかった場合は相手への妨害が起こってないので、1 回目であってもミスジャッジをしたペアの失点となる。
6. 「ネット」「スルー」「タッチ」「ノットアップ」「ファウルショット」は、両プレーヤー・チームが判定とコールをすることができる。
7. サービスのレットはレシーバー側がコールする。
8. インプレー中、他コートからボールが入ってくるなどの妨害が起こった場合は、「レット」とコールしてそのポイントをやり直す。
ただし、レットがコールされる前に打たれたボールが、コート内に正しく入らなかった場合は、そのボールを打った側の失点。明らかなウイニングショット・エースとなった場合は、そのボールを打った側の得点。
ポイントが終了した後で、妨害があったとしてやり直しの要求はできない。
第 2 サービスのモーションに入った後に妨害があった場合は第 1 サービスからやり直す。
9. 第 2 サービスからのインプレー中、第 1 サービスのフォールトのボールを誤って蹴飛ばした場合は、相手のプレーヤーが妨害と判断した場合「レット」をコールできる。2 回目以降は、その度に相手への故意による妨害となり、失点する。
10. 次の場合はレフェリーまたはロービングアンパイアに速やかに申し出る。
 - ・試合中、トイレ・着替えなどでコートを離れた時
 - ・相手プレーヤーの言動やコール、フットフォールトなどに疑問、不服がある時
11. 試合中に発生したケガや病気の時は、レフェリーまたはロービングアンパイアに要求後、次のエンド交代時（緊急を要する場合は直ちに）、1 部位の症状につき 1 回の M T O が取れ、3 分間の手当てをすることができる。
筋ケイレンの場合、エンド交代の時間内に限り処置をしてもよいが、M T O をとることはできない。

☆試合中にわからない事や困った事が起きたら

レフェリー（コート付近の通路にいます）を呼んでください。

第16回JLTFクレストレディーステニスbyカーブス

60歳の部 岐阜県大会

2025・10・14

SF

F



第1シード 浅野しのぶ・佐藤香保里

第2シード 名和恭子・木野孝子

第3シード 山田典美・崎原真紀

第4シード 武藤純子・山口育子

第5シード 藤田緑・野水美佐子

第6シード 渡辺美由紀・服部佳代子

第7シード 井平早百合・田中れい子

